

# “彩速ナビHD”と連携し、前後ともハイビジョン画質でクッキリ表示する2カメラドライブレコーダー



## ケンウッド DRV-MN940

●実売価格例：5万3784円

単体のドライブレコーダーが主流の中、ケンウッドはハイビジョン画質のカーナビ“彩速HD”と連携できる、別体型の最新ドラレコを発表。ここでは、カーナビ連携で生まれるメリットを検証してみた。

| 記録解像度                  | 画角                   | 記録メディア            |
|------------------------|----------------------|-------------------|
| 1920×1080<br>(フロント/リア) | 対角約133°<br>(フロント/リア) | microSD<br>16GB付属 |

GPS  
HDR(フロント)

### ▶フロントもリアもナビの大画面で高精細表示！



DRV-MN940で撮影された映像や、リアルタイムの映像を、ハイビジョンならではの高精細さでナビ画面で確認することができる。

### ▶バーチャルルームミラーで後方確認！



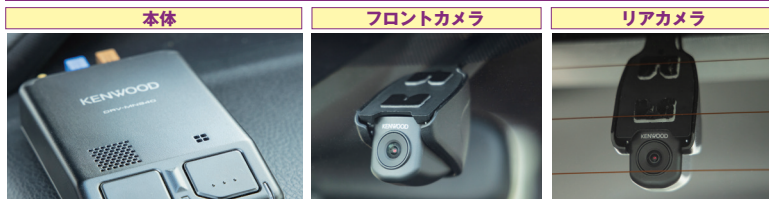
リアカメラを使った「バーチャルルームミラー」機能を搭載。荷物を満載していても、ナビ画面から後方確認を常に行える。この安心感が大きい。

### ▶「PCビューワー」で2画面同時表示も可能！



記録した映像をパソコン上で表示する場合は、前後カメラの映像を同時に表示できる。走行中の位置も地図上に表示される。

### ▶カメラと本体を分離。コンパクトなボディで設置しやすい！



本体とカメラを別体化することで、カメラが取り付けやすくと同時に、ルームミラー裏に収まりやすいので、視界を妨げず、運転に集中できる。

ケンウッドのカーナビ「彩速HD」は、ディスプレイをハイビジョン（1280ドット×720ドット）化することで、地図や地デジをより鮮明に映し出す能力を持つ。今回、彩速ナビの高画質をフルに生かせるドラレコとして新登場したのが、DRV-MN940である。

本機は、カメラと本体が分離した別体型で、最大の特徴は、カメラユニットにフルHD（1920ドット×1080ドット）画質で撮れる207万画

素C<sub>シ</sub>M<sub>ス</sub>O<sub>ス</sub>Sセンサーを採用したことだ。これをフロントとリアの両カメラに搭載し、前後とも高画質記録を可能にした。

そして、その映像を彩速ナビのHD大画面に映し出すことができるのだ。単に高解像度だけでなく、階調が豊かで、極めて自然な雰囲気再現されている。これは、撮影した映像を、ドラレコ本体側でハイビジョン画質に最適化したうえで彩速ナビに出力していることが大きい。

カメラ部は、ガラスの映り込み

を最小限に抑える工夫を施すなど、映像クオリティを徹底して気遣っている。操作も彩速ナビ上で自在に行え、前後の映像を切り替えるのもワンタッチだ。

本機は、あおり運転をはじめとする万が一のアクシデントを記録するのはもちろん、この映像クオリティなら、旅の思い出としても残したくなるほどだ。